

今後30年以内に
70%の確率で
首都直下地震が
発生する予想

～住み慣れた我が家で自分と家族を守る!!～ 今日から始める、在宅避難の備え

大地震は明日起きるかもしれません。
避難所は、堅固な建物であるため、倒壊の恐れが限りなく少ないというメリットがある一方で、感染症のリスクやプライバシーの確保が困難というデメリットがあります。
自宅が安全であれば、「在宅避難」をすると、家族やペットとともに住み慣れた環境で生活でき、日常生活を早く取り戻すことにつながります。

危機・災害対策課職員がお願いする
これだけは揃えて欲しい備蓄品5選



大地震が起きたら「避難所」
と思っていないですか？

避難所の受け入れには限界があります。



台東区の避難所数 45か所
避難想定人数 約5万人

調布市提供

⇒ **在宅避難が原則です!!**

少なくとも「3日分」を目標に!

日常備蓄のイメージ

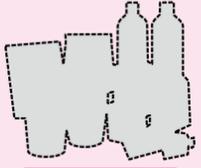
1 少し多く購入

2 古いものから消費



4 古いものから消費

3 減った分を補充
(常に少し多めの状態をキープ)



備えるべき品目・量



01 食料・飲料水



幼児やペット用も忘れずに

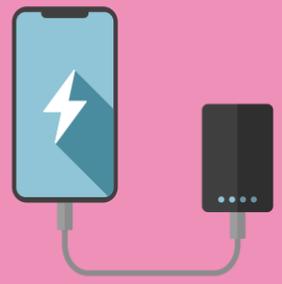
02 携帯トイレ



1面参照

1人1日少なくとも5回分必要

03 モバイル
バッテリー



定期的に充電を

04 カセットコンロ
ガスボンベ



ガスボンベの使用期限に注意

05 給水袋



持ち運びやすいものを



詳しくはこちら

問合せ 危機・災害対策課
TEL (5246) 1092

復旧に時間がかかり、流通が機能しない場合を想定すると「1週間分」の備蓄に努める必要があります。

～あなた自身と、より多くの方の命を助けるために～ 外出中に被災した場合の約束事



- **72時間**はむやみに移動せず、**安全な場所（職場や学校など）**で待機
 - 外出先で身を寄せる場所がない方は、「**帰宅困難者一時滞在施設**」を利用
- ※避難所は、住居が倒壊・焼失するなどの被害を受けた方が利用する施設です。



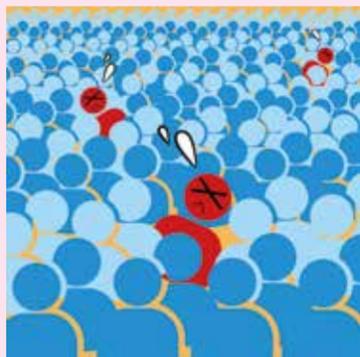
詳しくはこちら

無理な移動（車両や自転車での移動を含む）をすると…

- ・大規模な渋滞を引き起こし、救命や救助の妨げになる
- ・群衆雪崩などの二次災害を引き起こす原因になる



人命救助の妨げ



二次災害の発生

災害時の家族同士の安否確認手段

- ・災害用伝言ダイヤル 171
- ・台東区防災アプリ「台東防災」
- ・SNS



防災アプリについて詳しくはこちら

問合せ 危機・災害対策課 TEL (5246) 1093